

事項	りんごせん定枝堆肥の作り方と利用（追加）		
ねらい	りんごせん定枝堆肥の作り方と利用については、昭和62年度指導奨励事項として公表していたが、せん定枝チップの大きさの違いによる堆積方法が明らかになったので、追加して普及に移す。		
指導奨励内容	<p>1 堆積方法</p> <p>(1) チップが粗い場合（大きさが5mm以上のものが主体） 通気性が確保されるため、木枠を利用して踏圧しながら積み上げるか、そのまま野積みする。</p> <p>(2) チップが細かい場合（大きさが5mm以下のものが主体） 通気性が確保されず、堆肥内部が嫌気状態となるため、発酵（腐熟）が進まないの で、踏圧せずそのまま野積みする。</p> <div data-bbox="360 833 1414 1379" style="text-align: center;"> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span data-bbox="528 1397 671 1431">粗いチップ</span> <span data-bbox="1118 1397 1291 1431">細かいチップ</span> </p>		
期待される効果	堆肥化することにより、りんごせん定枝の野焼きが減少するとともに、堆肥化されたせん定枝の施用により、りんご園の地力が維持、増強される。		
普及上の注意事項	切り返しは、堆積開始から1か月程度の間隔で3回以上行う。		
担 当	青森県農林総合研究センターりんご試験場 病虫肥料部	対象地域	県下全域
発表文献等	昭和62年度 指導奨励事項 平成16年度 東北農業研究成果情報 あおもり農業 平成16年12月号 日本土壌肥科学雑誌 第75巻第5号 日本土壌肥料学会講演要旨集 第49集 平成16年度 日本土壌肥料学会東北支部大会講演要旨		

【根拠となった主要な試験結果】

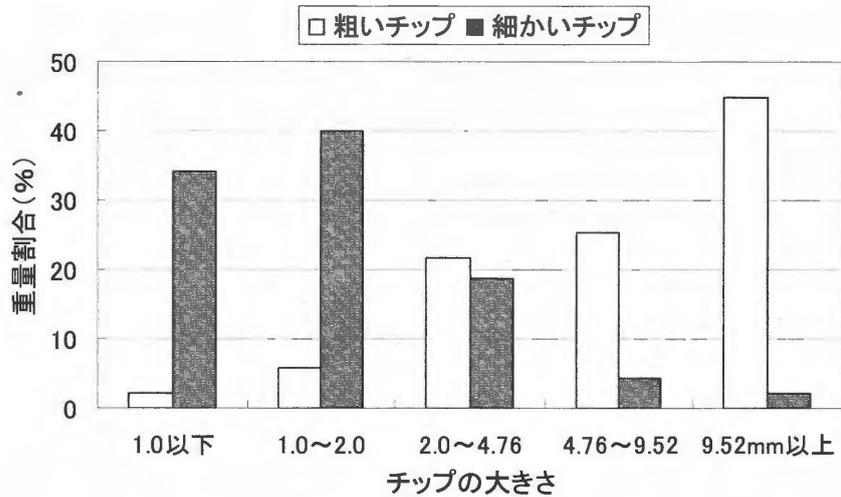


図1 せん定枝チップの大きさ重量割合 (平成13年 青森りんご試)  
(注) 篩分けによるチップの大きさの分布

表1 せん定枝チップの密度と含水率 (平成13年 青森りんご試)

区	密度 (kg/ m <sup>3</sup> )		含水率 (%)
	踏圧しない場合	踏圧した場合	
粗いチップ	150(100)	220(100)	25
細かいチップ	250(167)	320(146)	26

- (注) 1 ( ) 内は粗いチップの値を100とした相対値  
2 調査時期 平成13年 5月18日 (堆積前)

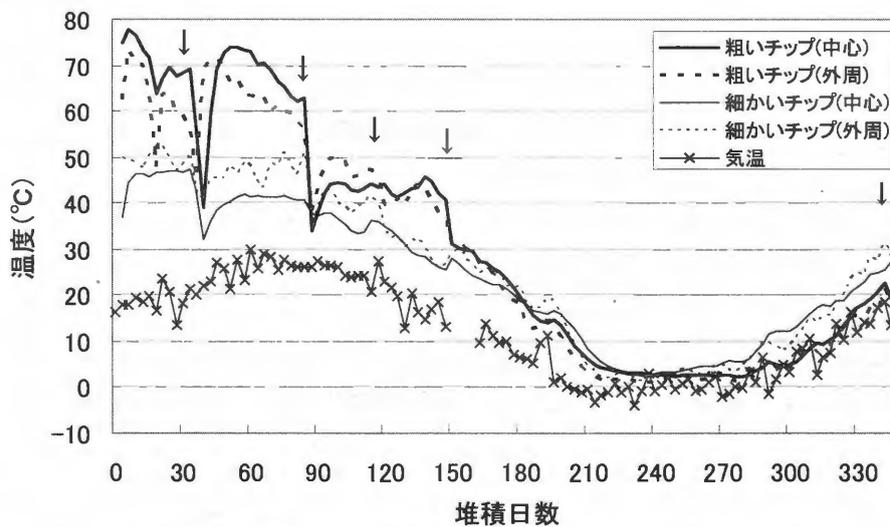


図2 堆積期間中の温度変化 (平成13年 青森りんご試)

- (注) 1 各チップとも堆積時に木枠を使用し踏圧有り  
2 矢印は切り返しの時期を表す